

Welcome to Sydney

4月13日(土)午前8時半頃、12期生32名(北海道1名、東北2名、関東8名、中部8名、近畿5名、中国4名、四国1名、九州・沖縄3名)が無事シドニー国際空港に到着しました。空港からは貸切バスでGCAオフィスのあるMeadowbankキャンパスへ向かいました。到着後、オリエンテーションやメドウバンクキャンパスツアーを行い、その後それぞれのホストファミリーに対面し、ホームステイ先に向かいました。



空港の到着ゲートから出てくる学生たち

シドニー空港での様子



↑ Meadowbankキャンパスへ向かうバス車内

Meadowbankキャンパスに到着



一人ずつ、自己紹介をしました。

↑ オリエンテーションの様子



↑ 到着日の集合写真

ホストファミリーと対面



福武名誉顧問講演会



↑福武総一郎名誉顧問

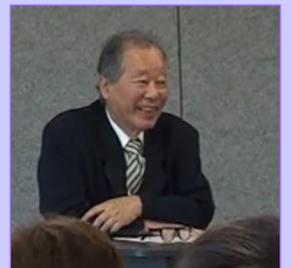
4月16日（火）に、GCAの創設者であるベネッセの福武総一郎名誉顧問が12期生を歓迎する為にシドニーに来て講演して下さいました。まずは、日本を出てオーストラリアに進学するという大きな決断をした12期生たちに敬意を表して下さいました。「何故GCAを創設したのか」「日本の常識は必ずしも世界の常識ではない。」「英語を話せるようになって、世界で通用する職業を身につけて欲しい」「成功の秘訣は、成功するまで諦めないこと」「全員に平等に与えられている時間をうまく使って欲しい」などといったことをご自身の経験を織り交ぜながら、お話し下さいました。また、学生からの「日本は学歴社会だと思いますか」「今後、日本が国際的に通用していくために、何か考えられているプランはありますか？」などの質問に対しても、一つひとつ丁寧に答え下さいました。それぞれの夢に向かって最初の一步を踏み出した12期生たちには、直接お話を聞く貴重な機会となり、また大きな励みになりました。



↑講演会の様子



質問をする学生たち



↑学生の質問にお答え下さる名誉顧問



目標表明ワークショップ

講演会の後、ワークショップを行いました。「何故ここで勉強するのか？何をここで勉強するのか？」をテーマに、グループ毎に各自が発表しあい、最後に各グループの代表が全員の前で発表しました。オーストラリアでは、自分の意見を持つこと、またそれを積極的に述べるのが求められますので、そのための良い訓練ともなりました。



オリエンテーション

TELC初日の4月15日(月)にTELCのオリエンテーションおよびクラス分けのテストが行われました。午後にはシドニーでの生活に必要な基本情報、TELCのクラス編成や進級、進路、オーストラリアの医療制度や郵便事情、治安、携帯電話等について説明を行いました。4月16日(火)からはTELCの授業が始まりました。4月17日(水)・18日(木)は銀行口座を開設しました。口座開設にはGCAの卒業生が同行し、先輩たちから留学生活や英語の学習方法について話を聞いたりして、先輩とのつながりを持つ良い機会になりました。



↑スピーキングテストの様子

昼食にTELCからピザがご馳走されました。



↑先輩に質問をする学生たち



↑銀行口座開設の様子



↑先輩からATMの使い方を教わりました。

4月の誕生日

